



平成28年度（平成27年度対象）

羅臼町教育行政の点検・評価

内部評価調書

羅臼町教育委員会

目 次

第1章 はじめに	3
1 目 的	
2 評価の方法	
3 羅臼町教育行政評価委員	
第2章 羅臼町教育委員会の活動状況	4~9
1 平成27年度教育委員会の開催	
2 教育委員の研修及び活動状況	
3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
第3章 平成27年度の取り組みの概要	10~21
1 幼稚園・学校教育の取り組み	
2 社会教育の取り組み	
3 幼稚園・学校教育に関わるその他の取り組み	

第1章 はじめに

1 目的

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、学識経験者の意見を付して議会に提出し公表することを目的としています。

2 評価の方法

平成27年度に教育委員会が取り組んだ学校教育及び社会教育に関する主要な施策について、現状や背景を踏まえ内部評価を行ったうえで、実績を明らかにした結果を次の通りまとめたものです。

- A : 達成状況のじゅうぶんなもの（効果が現れているもの）
- B : ほぼ達成しているもの（一部効果が現れているもの）
- C : 進行中（進行はしているが効果が見られないもの）
- D : 計画はしたが未着手のもの

3 羅臼町教育行政評価委員

羅臼町教育行政点検・評価にあたっては、各委員により幼稚園、小中学校の現状について各園・各学校の授業参観や管理職の説明を受け状況を把握するほか、教育行政が行った主要な各事業については、各事業の点検評価内容を直接担当課より説明を行うなどしながら、次の4名の各委員から具体的な意見などをいただいた。

氏名	住所	職業	備考
芦崎輝雄	羅臼町八木浜町24	会社役員	元羅臼町教育委員長
二宮信一	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	教育学・特別支援教育
境智洋	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	地域学校教育
佐々木泰幹	羅臼町幌萌町623-42	知床山岳ガイド	知床山海塾塾長

尚、委員の任期は平成25年4月1日から平成28年3月31日までとなっています。

第2章 羅臼町教育委員会の活動状況

1 平成27年度教育委員会の開催

羅臼町教育委員会は、毎月1回の定例会と、必要に応じて臨時会や教育懇談会などを開催し、教育課題に対する協議を行いました。

会議の開催状況は次の通りです。

開 催 日	付 議 案 件
平成27年4月27日 第4回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第4号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第18号 平成26年度教育費予算補正について</p> <p>議案第19号 平成27年度教育費予算補正について</p> <p>議案第20号 平成27年度準要保護児童生徒の認定の廃止について</p> <p>【その他】</p> <p>1 平成27年度根室管内市町教育委員会連合会定期総会並びに教育委員研修について</p> <p>2 平成26年度学校給食地元食材提供実績について</p> <p>3 平成27年度教職員名簿について</p>
平成27年5月26日 第5回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第5号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第21号 平成27年度教育費予算補正について</p> <p>議案第22号 平成27年度準要保護児童生徒の認定（追加）について</p> <p>議案第23号 町立幼稚園の登園開始時刻に関する特別（登園受け入れ時刻を早めることを許可する特例）の試行について</p> <p>【その他】</p> <p>1 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業 「少子化対策支援事業」町立幼稚園入園料助成金交付について</p> <p>2 総合教育会議について（企画振興課との事務レベル打ち合わせ内容について）教育委員の学校・幼稚園訪問について</p> <p>3 平成27年度根室管内市町教育委員会連合会定期総会並びに教育委員研修について</p>
平成27年6月30日 第6回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第6号 諸会議・諸事業について</p> <p>第7号 平成27年度教育費予算補正について</p> <p>第8号 羅臼町立幼稚園入園料助成金交付要綱の制定について</p> <p>第9号 町立幼稚園の登園開始時刻に関する特別（登園受け入れ時刻を早めることを許可する特例）の試行に係る申し込み状況について</p>

	<p>【協議事項】</p> <p>議案第24号 羅臼町教育支援委員会規則の一部改正について 議案第25号 義理員就業規則の一部改正について 【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度学力テストの分析について 2 ESDパスポートについて 3 平成27年度少年の主張根室地区大会発表者について 4 平成27年北方少年交流事業派遣について 5 教育委員の学校訪問について（日程変更） 6 学校給食センター調理員の募集について
平成27年7月21日 第7回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第10号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第26号 平成27年度準要保護児童生徒の認定（追加）について 【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 羅臼町総合教育会議について 2 「根室管内教職員人事異動実施要領」改正検討ワーキンググループ第1回会議について 3 第33回ふるさと少年探検隊参加申し込み状況について 4 平成27年少年の主張根室地区大会の結果について 5 平成27年北方少年交流訪問について 6 標津町・羅臼町合同研修会について 7 教育委員の学校・幼稚園訪問の実施時期変更について
平成27年8月27日 第8回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第11号 諸会議・諸事業について</p> <p>第12号 平成28年度に使用する小学校及び中学校教科用図書並びに平成28年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第27号 平成27年度教育費予算補正について 【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道研地域連携セミナー及び道研夏季フリープラン研修について <ol style="list-style-type: none"> ①道研地域連携セミナーについて（7月27日開催） ②道研夏季フリープラン・教師力向上研修（7月28日開催） ③道研夏季フリープラン（校長研修会）7月30日・31日（札幌） ④道研夏季フリープラン（教頭研修会）8月7日（札幌） 2 羅臼町総合教育会議について 3 平成26年度決算審査総括について

平成27年8月27日 第1回総合教育会議	<p>【協議事項】</p> <p>教育大綱の策定について</p>
平成27年9月28日 第9回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第13号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>選挙第1号 羅臼町教育委員会委員長の選挙について</p> <p>議案第29号 羅臼町教育委員会委員長職務代理者の指定について</p> <p>議案第30号 平成27年度全国学力学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 「根室管内公立幼稚園教育研究大会」について 2 教育委員の学校・幼稚園訪問に係る日程調整について
平成27年10月7日 第1回臨時教育委員会	<p>【報告事項】</p> <p>第14号 平成27年度教育費予算補正（専決処分）について</p> <p>【協議事項】</p> <p>移動図書館バスの継続購入要望について</p> <p>※10月9日町長要望</p>
平成27年10月22日 第10回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第15号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>なし</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 町内小・中学校の学校改善プランについて 2 教育指導主幹通信より 3 教育委員の学校・幼稚園訪問の日程確認について
平成27年11月25日 第11回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第16号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第31号 平成27年度教育費予算補正について</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 第5回教育委員と校長との教育懇談会について 2 「児童・園児の体づくり・運動能力向上事業（COT導入）」の平成28年度以降の取り組みについて

	<p>3 各小学校の設置の公衆電話の撤去について 4 教育指導主幹より 5 教育委員と校長との教育懇談会と教育関係者合同忘年会について</p>
平成27年12月18日 第12回定例会	<p>【報告事項】 第17号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第32号 「羅臼町教育大綱」（案）について</p> <p>【その他】 1 平成27年度「知床学士」認定試験の願書受付状況について 2 平成28年羅臼町成人式について 3 「本との出会い講演会」兼「羅臼町PTA連合会家庭教育研修会」について</p>
平成27年12月18日 第1回教育懇談会	<p>羅臼町校長会との教育懇談会 テーマ：「新設の知床未来中学校開校に向けて どのような小中学校の連携を進めていけばよいのか」</p> <p>①全道の学力・学習状況調査を受けての町内の実態 ②キャリア教育、知床学（ユネスコスクール・総合的な学習の時間）連携 ③教科の連携</p>
平成28年1月26日 第1回定例会	<p>【報告事項】 第1号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第1号 平成27年度教育費予算補正について 議案第2号 平成27年度児童生徒表彰について 議案第3号 「羅臼町立幼稚園設置条例」の一部を改正する条例制定について 議案第4号 「羅臼町立幼稚園規則」の一部を改正する規則制定について 議案第5号 「羅臼町立幼稚園の保育料及び入園料の減免に関する規則」を廃止する規則制定について</p> <p>【その他】 1 平成27年度卒業（卒園）式及び平成28年度入学（入園）式の日程と出席委員の確認について</p>
平成28年2月24日 第2回定例会	<p>【報告事項】 第2号 諸会議・諸事業について 第3号 平成27年度教育費予算補正について</p> <p>【協議事項】 議案第6号 平成28年度教育行政執行方針について 議案第7号 平成28年度教育費の予算編成について</p>

	<p>【その他】</p> <p>1 羅臼町教育関係者合同送別会について 2 平成28年度校長・教頭一般教職員辞令交付式について</p>
平成28年3月28日 第3回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>第4号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第8号 「羅臼町立幼稚園規則」の一部を改正する規則制定について (※行政不服審査法の改正に伴う関係規則の一部改正)</p> <p>議案第9号 町立幼稚園の登園受入開始時刻を早めることを許可する特例 に関する規程の制定について</p> <p>議案第10号 平成28年度準要保護児童・生徒の認定について</p> <p>【その他】</p> <p>1 平成27年度中学校卒業生の進路状況について 2 平成28年度教職員の人事異動(内示)について 3 平成28年度の小・中学校の学級編成状況について 4 平成28年度 転入校長・教頭・一般教職員辞令交付式について 5 平成28年度入学・入園式に関する確認(再確認)</p>

i 開催回数：定例会…12回 ／ 臨時会…1回 ／ 懇談会…1回

ii 審議事項：議決案件43件／報告案件18件／協議案件25件／その他…43件

2 教育委員の研修及び活動の状況

①研修会に関する事項

- i 根室管内教育委員会連合会研修会（羅臼町公民館）
- ii 北海道市町村教育委員連合会研修会（札幌市）
- iii 教育委員研修会北海道立教育研究所企画研修部との懇談会
- iv 教育委員研修会「コオーディネーショントレーニング研修会」
- v 教育委員研修会「新設の知床未来中学校開校に向けて どのような小中学校の連携を進めていけばよいのか」（校長会の提言及び教育懇談会）
 - ①全道の学力・学習状況調査を受けての町内の実態
 - ②キャリア教育、知床学（ユネスコスクール・総合的な学習の時間）連携
 - ③教科の連携
- vi 標津町・羅臼町合同研修会
- vii 中高一貫合同講演会

②学校行事に関する事項

- i 羅臼幼稚園、春松幼稚園の卒園式・入園式・運動会・発表会・公開授業研
- ii 羅臼小学校、春松小学校卒業式・入学式・運動会・学芸会・公開授業研・学習指導法研究大会

- iii 羅臼中学校、春松中学校卒業式・入学式・体育大会・文化祭・公開授業研
- iv 羅臼高等学校入学式・卒業式・学校祭・中高一貫教育
- v 中標津高等養護学校入学式・卒業式
- vi 鈎路養護学校小中学部卒業式・学習発表会

③社会教育・公民館・郷土資料館に関する事項

- i 羅臼町成人式 ii 羅臼町文化祭 iii 文化協会総会 iv 文化財保護調査委員会
- v 高校生の水産教室 vi
- vii 優良公民館全国表彰受賞式出席（文科省）

④体育行事に関する事項

- i 国後眺望駅伝大会 ii 総合型地域スポーツクラブ「らいいず」総会

⑤その他

- i 知床ユネスコ協会総会出席 ii 教育委員の幼稚園・学校訪問（7/16）
- iii 第70回日本ユネスコ大会in知床参加 iv 羅臼町敬老会 v 通学バス懇談会

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
第24号	羅臼町教育支援委員会規則の一部改正について	学務課
第25号	羅臼町学校給食センター調理員就業規則の一部改正について	学務課
第3号	「羅臼町立幼稚園設置条例」の一部を改正する条例制定について	学務課
第4号	「羅臼町立幼稚園規則」の一部を改正する規則制定について	学務課
第5号	「羅臼町立幼稚園の保育料及び入園料の減免に関する規則」を廃止する規則制定について	学務課
第8号	「羅臼町立幼稚園規則」の一部を改正する規則制定について (※行政不服審査法の改正に伴う関係規則の一部改正)について	学務課
第9号	町立幼稚園の登園受入開始時刻を早めることを許可する特例に関する規程の制定について	学務課

第3章 平成27年度の取り組みの概要

I. 学校教育の推進

(1) 人間形成の基礎を培う幼稚園教育

取り組みの概要	<p>幼稚園教育は、発達や学びの連續性を考慮した取り組みを通じて、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っています。そのため、幼稚園教育要領に基づき、体系的・系統的な取り組みを継続的に行い、健康で人間性豊かな子どもの育成に努めます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">* 同年齢による遊び機会の充実* 集団の中で多様な経験を積む機会の充実* 子育てに対する親の学習機会の提供 (過保護や過干渉、育児に不安を抱える保護者への対応)* 小学校への円滑な学びの接続の充実	内部評価
推進項目	①家庭教育学級の開催を支援。	B
	②ユネスコスクール活動を通じて自然体験活動を推進。	A
	③小学校とのスムーズな接続「幼小スタートカリキュラム」の充実。	A
	④園児の食育や虫歯予防対策を継続。	A
	⑤教員の資質の向上を図る研修や支援教育に係る研修を推進。	A
	⑥年少児からコオーディネーショントレーニングの取り入れ。	A

(2) 確かな学力を育む学習指導

取り組みの概要	<p>変化が激しい時代にあって、子ども達の将来の夢や希望の実現を図り、逞しく生き抜いていく能力や態度の育成は、学校の教育活動全体を通して育むことが求められています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">* 子ども達の学力向上に向けた学校の組織的な取り組みへの支援* 関係機関や団体などと連携した教職員の授業力向上・職能向上に向けた研修機会の充実	

	* 大学や研究機関が行う教育研究活動と連携した地域の実態に即した方策の確立	内部評価
推進項目	①道立教育研究所と連携して行う「フリープラン研修」ほか各種研修会を開催し、教師力向上の取り組みの支援。	B
	②羅臼小学校・春松小学校において土曜授業への取り組み。	A
	②「全国標準学力検査（NRT）」を全校・全学年に実施し分析を行い児童生徒の基礎学力の定着を図る取り組み。	B
	④全国学力学習状況調査（小6・中3）に全校で参加します。	A
	③羅臼高等学校の生徒や北海道教育大学釧路校の学生による学習支援ボランティアをはじめ、アフタースクール事業、学級支援活動事業を積極的に推進。	A
	⑥小中連携のカリキュラムの開発。	C
	⑦副読本「知床学」を活用して、ユネスコスクール活動の推進。	B
(3) 信頼される学校づくり		
取り組みの概要	学校は、保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、組織的・継続的に運営の改善を図り、家庭や地域の理解を深めることが期待されています。又、子ども達の安全・安心な学校生活が送れるよう教育環境整備に向けた取り組みを推進しなければなりません。 【課題】 * 校内における相談体制の充実と関係機関との連携・協力による実効性のある生徒指導の取り組み * 教職員の服務規律・各種法令の順守の徹底 * 学校評価を生かす学校づくり * 学校と家庭・地域との連携（地域との共生・PTA活動の活発化）	内部評価
推進	①学校評価を反映した学校づくりや各種調査結果など、迅速な公表を通じて説明責任を果たす取り組みを支援する。	B
	②家庭・地域と連携した特色のある学校教育活動を支援する。	B

項目	③保護者の学校教育活動への積極的な参画を奨励し開かれた学校づくりを支援する。(PTA活動や少年団活動への支援)	B
	④教職員の各種法令順守の徹底を図る。	A

(4) 豊かな心や健やかな体を育む教育

取り組みの概要	<p>子ども達の豊かな心や健やかな体を育むためには、家庭や地域社会との連携による発達段階に応じた各分野のさまざまな体験活動が求められています。また、安全な学校給食を提供するため、学校給食センターで使用している老朽化した設備・器材を順次入れ替えして参ります。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> *生き方教育「キャリア教育プロジェクト」の推進 *「生きる力」の基礎となるさまざまな体験活動と世代間交流の推進 *スポーツ活動や運動に親しみ、基礎体力を高める取り組みの推進 (幼稚園・小学校のコオーディネーショントレーニングの取り入れ) *医療や保健機関と連携した肥満児対策・指導体制の充実 *安全な学校給食の提供と食育の推進 *学校体育・社会体育などを通じた運動機会の提供 	内部評価
推進項目	①幼小中高一貫教育と連携し、生き方教室「キャリア教育プロジェクト」の推進。	B
	②子ども達の肥満対応策について、医療や保健機関と連携し、食育の推進や「こんばす」の活用を図り、指導体制の充実を図る。	B
	③体力・運動能力の向上を図るため、幼稚園年少児からのコオーディネーショントレーニングを引き続き導入。	A
	④学校の道徳教育を効果的に推進するため、必要に応じて教職員の研修会を開催する。	A
	⑤学校給食については、安全な地元食材の提供をいただき、ふるさと学習の教材として食育に活かす。	A
	⑥ハイパーQ-Uテストを前期と後期に実施し生徒指導や学級づくりを支援する。	A
	⑦防災教育をはじめ、いじめ防止活動など、子ども達の安全・安心な学校づくりを推進し支援する。	A

(5) 羅臼町支援教育の推進

取り組みの概要	〇歳から18歳までの子どもの課題や支援内容などについて整理し、正しく伝えることや多くの情報を短時間で伝えるため個別の支援計画「こんばす」を有効に活用しています。子どもとその保護者、学校などと連携を強め、包括的な支援教育の確立を目指しています。 【課題】 *障がいのある子や困り感のある子ども達の社会参加と自立 *個別の支援計画書「こんばす」所有者の形態別支援体制の構築による一貫した支援体制の確立	内部評価
進項目	①個別の支援計画書「こんばす」の所持目的別の分類を行い、支援体制の検討。	B
	②保健師や発達支援センターなどとも連携し、個別の支援計画書「こんばす」の普及と充実。	B
	③「こんばす」の利用にあたって保護者説明会の開催や担当教員の研修会を開催し、専門性の向上。	B
	④特別支援教諭2種免許取得研修会への参加の奨励。(最終年)	B

(6) ESDの推進

取り組みの概要	郷土の歴史や自然への興味・関心を深め体験を重ねることは、子ども達の豊かな心情や思考力の芽生えを培い創造性を豊かにします。ユネスコスクール活動を通して、教育的なねらいを明確にし、体系的・系統的な学習に取り組むことが重要です。関係機関と連携しESDの推進と充実・発展を図っていきます。 【課題】 *関係機関との連携による世界自然遺産知床の優れた自然環境を活用したユネスコスクール活動の充実・発展 *羅臼町独自の副読本「知床学」の活用 *教職員の専門的な知識習得に向けた研修機会の提供「ESDの推進」	内部評価
推進	①幼小中高によるユネスコスクール研究発表会を開催します。	B
	②副読本「知床学」を活用し、幼稚園からの系統的な学習を進めます。	B

項 目	③北海道ESD推進センターの協力を得て研修会を開催します。	B
	④知床の世界遺産登録10周年に係わるユネスコスクール活動への支援	B
	⑤教職員対象の持続可能な社会実現のためのESD推進研修会の開催。	B
	⑥学校等の必要に応じて自然環境教育主幹を派遣し授業の支援。	A

(7) 中学校の適正配置計画推進

取 り 組 み の 概 要	統合新設中学校の基本設計が終わり、実施設計に向けた取り組みを行います。今後、検討委員会は、実施設計と校歌・校章の決定など多岐にわたる具体的な内容について作業を進めて参ります。 【課題】 *春松中学校・羅臼中学校閉校に向けた行程作業 *統合新設中学校開設に向けた準備作業 *統合新設中学校建設に向けた保護者や校長会、地域等による各種委員会の設置	内部評価
推 進 項 目	①両中学校、地域やPTAを含めた統合までの検討委員会の行程作業	D
	②校歌・校章など児童会・生徒会などの意見を聞く	B
	⑦統合新設中学校新築に向けた取り組みを推進します。	B
	⑧統合新設中学校開設に向けた各種の準備等委員会を設置します。	C

II. 社会教育の推進

(1) 「地域の課題を見つめ、自主・自立のまちづくりを目指す」

取 り 組 み の 概 要	多様化する個人の生活を背景とした学習機会の提供や学習情報の提供などとともに、地域における文化活動の担い手となる人材の育成を目指した活動を支援してまいります。 特に、青少年活動については自ら学ぶ意欲と能力を持った人材の育成を目指し、中高一貫教育における生徒会のリーダー研修会を支援するほか、根室管内の全ての高等学校が参加して行う「第3回ハイスクールフェス」をはじめ羅臼高等学校が学校設定科目として取り組んでいるフードデザインを履修する生徒が地域と連携して行う事業を支援してまいります。 【課題】	

	<ul style="list-style-type: none"> * 地域社会に学びを還元する人材（指導者・リーダー）の育成 * 自ら学ぶ意欲と能力を持った青少年の育成 * 青年活動の核となるリーダーの育成 * 学校教育と連携した家庭教育やPTA活動の充実 	内部評価
推進項目	《乳幼児教育》 ①家庭教育学級を開催します。（みそ作り教室） ※一部効果がみられる	B
	《少年教育》 ①子ども会育成協議会との共催「第33回ふるさと少年探検隊」を実施します	A
	《青年教育》 ①青年期教育を構想していくため中高一貫教育における生徒会のリーダー研修会を支援します。	A
	②青少年社会参画育成事業「第3回ハイスクールフェス」に参加します。	A
	③羅臼高等学校家庭科（フードデザイン）と連携し、創作料理プロジェクトを推進します。	A
	④高校生の第31次「高校生の水産教室」を実施します。	A
	⑤成人式を実施します。	A
	⑥青年への活動機会、研修機会の提供や支援をします。	B
	《成人教育》 ①地域に内在する課題の調査研究を進め、地域学習の支援を図ります。	C
	②PTA活動を充実させるための支援をします。	C
	③社会教育団体への活動支援をします。	B

(2) 「心を結ぶ文化活動で、潤いあるふるさとづくりを目指す」

取り組	<p>地域社会は、町民一人ひとりにとって充実した人生を送ることが出来る潤いと安らぎのある場であることが求められていますので、文化の創造と享受をつなぎ、生涯にわたり主体的に学習活動を行なう人材の育成は重要です。</p> <p>文化財保護活動につきましては、国の重要文化財指定の答申がなされたオホーツク文化の松法川北岸遺跡出土品の保存と教育・観光資源としての活用を推進します。</p> <p>【課題】</p>
-----	--

み の 概 要	<p>《読書活動》 * 関係課と連携した効果的な事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校との連携による読み聞かせボランティアーカークの充実・育成 * 「子ども読書推進計画」の策定と関係団体によるネットワークの構築 <p>《少年教育》 * 各種体験プログラムの検討</p> <p>《青年教育》 * 羽田高校の部活動を通じた芸術・文化活動への交流 (広がりと深まりを意識したアプローチ)</p> <p>《成年教育》 * 芸術・文化活動への動機づけを図るプログラム開発 * 協力者や講師の発掘</p> <p>《高齢者教育》 * 集合型と出前型を適宜に展開できる事業の工夫</p> <p>《文化財》 * 国の重要文化財指定の答申がなされた出土品の保存と活用のための各種事業の展開</p>	内部評価
推 進 項 目	《乳幼児・家庭教育》	A
	①ふれあいコンサートを実施します。	A
	②ロビー・ホールの展示事業を計画的に行います。	A
	③ブックスタート事業の充実を目指します。	A
	④幼児と保護者を対象とした本との出会い講演会を開催し、読み聞かせボランティアに関わる人材の発掘に努めます。	B
	⑤文化協会と共に第45羅臼町総合文化祭を実施します。	A
	《少年教育》	A
	①芸術文化鑑賞事業を実施します。	A
	②ふるさと体験教室を実施します。	A
	③放課後や土日のアフタースクールを年2回実施します。	A
《青年教育》	①青年から高齢者を対象とした「知床学講座」等の検討。	D
	《成人教育》	C
	①子育てに必要な情報を提供するほか、相談事業の充実を図ります。	C
《高齢者教育》	①こまぐさ学級を運営します。	A

(3) 「健康の増進、コミュニティづくりに役立つスポーツ活動」

推進項目	<p>スポーツは体力増進、健康保持のため従前にも増して重要な役割を担っています。また、希薄化傾向にある人間関係や地域の連帯感において、子どもから高齢者までが生涯を通じてスポーツに親しむことは、人と人の心を繋ぐコミュニティづくりに大きな期待が寄せられています。</p> <p>町民体育館の指定管理者「NPO法人羅臼スポーツクラブらいす」を中心に、町民一人ひとりが世代を超えた交流を深めながら、体力づくりや健康づくりの活動が効果的に行われており、引き続き環境の整備や情報の提供などを行いながら活動を支援して参ります。</p> <p>また、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ環境づくりを促進するために、スポーツ団体及び指導者の育成、学校開放事業や子どもの体力向上事業などを推進して参ります。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもたちや高齢者までの運動不足と体力低下への対応 *親と子が共に楽しみ、学べる運動やスポーツ活動の推進 *幼稚園年少児から始まる体力コミュニケーション能力の向上への取り組み推進 *町民の体力増進と健康保持（体力維持機会の提供・食育・健康教育） 	内部評価
推進項目	①NPO法人羅臼スポーツクラブ「らいす」の活動を支援し、スポーツ振興を図ります。	A
	②子どもの体力とコミュニケーション能力向上を図るため、幼稚園と小学校が連携し、コオーディネーショントレーニング継続実施します。	A
	③高齢者のスポーツ活動を推進します。	B
	④スポーツ相談事業を実施します。	B
	⑤学校体育施設開放事業を行います。	A
	⑥「クナシリ眺望駅伝競走大会」を後援します。	A
	⑦各種スポーツ団体の活発な活動を支援するため指導者の育成を支援します。	C
	⑧各種大会の参加を支援します。	A

III. 学校教育に係わるその他の取り組み

(1) 主な調査

調査月日	調査名	担当課
平成27年 4月14日	小学校NRT実施	学務課
平成27年 4月15日	中学校NRT実施	学務課
平成27年 4月17日	春松中学校第1回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年 4月23日	春松小学校第1回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年 5月12日	羅臼小学校第1回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年 6月30日	羅臼中学校第1回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年11月 5日	羅臼中学校第2回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年11月 9日	春松中学校第2回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年11月10日	羅臼小学校第2回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成27年11月26日	春松小学校第2回Q-U（学級満足度調査）	学務課

※NRT（相対評価法による標準学力検査）は、全国基準に照らして客観的に学力を把握します。

※Q-U（学級満足度調査）は、楽しい学校生活を送るためにアンケートで、学級の満足度・学校生活意欲・ソーシャルスキル尺度を調べ、教師のより適切な支援ツールです。いじめや不登校を未然に防ぐのに役立ちます。

(2) いじめ・不登校への取り組み

平成27年度は、いじめについての報告はありません。登校中に友達同士論となり怪我を負わせたが、加害者、被害者の保護者を交え、謝罪し和解した。

不登校は、羅臼中学校1年生で3件となっている。男子については、2回ケース会議を開き対応を話し合った。2学期以降週1回保健室登校（午前中）できている。女子1名について、教育相談（山本対応）を行った。学校に顔見せたこともあったが、その後出席できていない。もう1名については、現在、保健室登校をしている。

(3) 教育委員会が行った主な教職員の研修等

研修会名	開催月日等	講師等
幼稚園・小学校教諭 COT研修会	平成27年4月28日	講師：NPO法人JACOT 菅野 美津枝 氏 菅野 映 氏
第1回 羅臼町特別支援教育 コーディネーター& こんばす運用委員研 修会	平成27年6月9日 「学校での特別支援教育コーディネー ターとしての考え方・動き方」 「専門家に依存しない特別支援教育の あり方について」	講師：教育大学釧路校 准教授 二宮 信一 氏
羅臼町 第2回校長研修会	平成27年6月10日 「学力向上を目指す学校の取り組みに ついて」	講師：教育大学釧路校 准教授 二宮 信一 氏
羅臼町幼小中高一貫 教育合同研修会& 道研連携セミナー	平成27年7月27日 (午後開催67名)	講師：北海道立教育研究所 企画・研修部 大脇 明子 氏ほか
北海道立教育研究所 羅臼町夏季フリープ ラン	平成27年7月27～28日 27日（午前13名）午後連携セミナー 「授業づくり研修～道徳」 28日（午前8名・午後34名） 「学級づくり研修～学年・学級経営の 具体的進め方」 「不登校児への対応」	講師：北海道立教育研究所 企画・研修部 大脇 明子 主事 秋里 泰紀 主事
羅臼町道研校長研修	平成27年7月30日～31日 「学校経営研修」ほか	講師：北海道立教育研究所 企画・研修部 西川忠克主幹ほか
羅臼町道研教頭研修	平成27年8月7日 「学校経営研修」ほか	講師：北海道立教育研究所 企画・研修部 長浦主査ほか
第1回標津・羅臼	平成27年8月20日（標津町会場）	視察報告

合同研修会	「秋田視察報告を踏まえての研究協議」	標津町校長会・教頭会
第2回 羅臼町特別支援教育 コーディネーター& こんばす運用委員研 修会	平成27年9月7日 「全校で取り組む校内支援体制の構築に いて」 「羅臼町の特別支援教育の充実について」	講師：教育大学釧路校 准教授 二宮 信一 氏
第6回 羅臼町校長研修会	平成27年9月9日 「校長に期待するもの」	講師：根室教育局 局長 小山 茂樹 氏
2回標津・羅臼 合同研修会	平成27年11月27日 「問題解決能力を育成する学校教育のあり方」	講師：教育大学釧路 准教授 境 智洋 氏
北海道立教育研究所 羅臼町冬季フリープ ラン	平成28年1月7日～8日 7日（午前12名） 「ネットトラブルの状況と対処法」 7日（午後8名） 「基本的な学習スタイルの定着に向けた授業スタイル」 8日（午前11名） 「TT授業におけるT1・T2の効果的な指導のあり方」 8日（午後7名） 「服務規律」	講師：根室教育局 社会教育指導班 主査 熱海 桂子 氏 北海道教育研究所 企画・研修部 天野 健治 主事 根室教育局 企画総務課 畠山 直人 課長

(4) 各種学校医・学級支援

事業名	開催月日	講師等
小学校学習支援事業	平成27年9月24日～30日 羅臼小学校・春松小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部学生
アフタースクール事 業	平成27年9月25日～27日春松小学校 平成27年11月6日～ 8日羅臼小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部学生

理科支援員配置事業	平成27年9月27日～30日 羅臼小学校 平成27年12月14日～18日春松小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部大学院生
防災防災教室の開催	平成27年12月3日 羅臼小学校 平成27年12月4日 春松小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部 3年生
高校生ボランティア支援	平成27年12月24日 羅臼・春松小学校 25日 羅臼小学校	講師：羅臼高校生

第4章 外部評価委員の意見

※第2回外部評価委員会（平成27年9月7日開催）における各委員からの意見

- 家庭教育について、お母さん方をどう動かすかということが、以前から課題としてあった。当外部評価委員会始まってからも、なかなか動いてくれないという状況が続いていたが、少しずつじっくり構えていくことうということで取り組んできた結果、動き始めてきているということであり嬉しく感じた。社会教育単独で取り組むのも難しいことで、「ありんこ」や「ブックスタート」との連携の中でネットワークを作って広がって位置付けられていくことが大事。
- 特別支援教諭2種免許取得について、道教委の目標設定は70%。まだこれに達していないので現在、道教大釧路校で夏に取得講座実施。70%に達したら道教委としてはやめると思われる。そうなると札幌まで行かなければ免許取得できなくなり、教員の費用負担高くなる。その辺の情報も得て、できるだけ身近で取得できるうちに免許取得を勧めた方が良い。
- 本別町の事例紹介。「複式校母の会」というのがあって、その研修会。午前は講演、午後から自分の子育ての話をお母さん自らがし、10くらいのグループに分かれて分科会も行われた。この中から次を担えるリーダーが育って行くのだろうと思う。このような中で親が育っていっているのを目の当たりにした。親自身が学べる場やPTAで「子育て講座」のようなものを開いていくなど工夫して家庭教育学級をつないでいくことも有効。
- PTAが主催した子育て講座など、幼稚園あたりで予備軍として育っていくと、小学校・中学校になって主体（中心）になってやってくれる。突然「やって。」と言ってもなかなかできないと思うので、丁寧に数年かけて育していくということも・・・。
- 実際にやれるかどうかは別としても、例えば“特別支援学級に在籍している親たちで集まつて懇談しませんか”とか・・・、一般的に講演会しましょうといっても集まらないと思う。
- 中標津高等養護学校の研究授業を見に行ったら、羅臼の子が3人・4人いた。今日、羅臼中学校に行かせていただいたら、ちょっと心配のあるお子さんが羅臼高校にするか中標津高等養護

学校にするか悩んでいるとの話があった。それであれば「中標津高等養護はこんなことやっているよ」ということを先輩の話という形で、中学校に呼んで話を聞いたら…といった。そういうことでイメージすると、キャリア教育がつながってくる可能性が高くなる。

- 病院がなくなって、（診療所の状況について）それ以前と比べて使われる率（来院者）は増えているか？そのことが健康づくりにつながると思われる。来院者の傾向がどうなっているのかということから予防医学につながる健康づくりなど、発想としてつながる。
また、病院の傾向（受診者の内容や通院者の状況）から羅臼町の課題が見えてくる。データに基づいた取組みが見えてくる。
- 生涯学習が叫ばれるようになってから、行政各部署において町民の意識改革や必要課題に関する学習機会などの提供が行われるようになってきており、それぞれの専門性の中で住民対象に各種事業等が行われるようになっている。そのような流れの中、社会教育スタッフが減少する状況もあって、ポイントを絞った社会教育の取り組みとして、近年、次代につなぐ人材やリーダー育成に重点を置いた取組みを進めてきており、成果も出てきている。
- それでいいと思う。社会教育とは「大人の学び」ということ。
- 先般、春松の同窓会あり、話題に上がったのは、当時の子ども達と今の子ども達の体力はどうなっているのか？ということであった。自分たちの子ども時代、毎日歩いて学校に通った。
冬場、雪が降ってもスキーで登校した。それがすごく楽しかった。当時、羅臼岳登山も、春松に朝4時に集まってそれから歩いて登山口まで行き、さらに羅臼岳に登った。
また、冬になると風呂敷に弁当を包んで、裏山に登って、残雪期のツアーもした。
そういうことからすると、今の子どもたちは歩くこと自体してないのではないか、当時の子どもたちは栄養状態も悪く昼ご飯を持ってこない者もいたが、それでもそのようなことをやっていた。今の子どもたちは授業（学業）の面ではすごく進んでいるが、体育的なことについてもう少し向上する手立ては何かないのかと思う。体力的なこと（劣っていること）が心配。
- オンコ公園は、千年の水場など名勝も多く、冬の間、ここを巡る事業などがあってもよいと思う。スキー授業に代わるものとして生かすことができるのではないか。
- スキーが町技になったのは、歩く道具として使っていたということもあった。ゲレンデを滑るだけのスキーということではなく、「生活のためのスキー」としての町技の云われもあった。運動公園一帯が年間5か月は遊べるので、町の活性化も含めて子どもたちの体力向上に利用できればと思っている。
- 羅臼は、崖を登らなくてもすぐ裏山に取りつくことができる。日帰りで行って来れるルートも多々あり、町民のみならず道東一円から集まってきており、興味ある人は多い。
社会体育とつながるのかどうかはわからないが、そのようなフィールドの良いところに我々は住んでいることを利用して体力向上を図るのも一つの案かと思う。

○ ライフスタイルをどう分析するか。子育てしている親の感覚と子どもたちのライフケーストyleがズレている。ズレているのだけれども親達はそれに気づかない。現実には親たちは歩いて（学校に）通ってたであろうし、お迎えも来なかっただろうけれど、今の子どもたちは、雨が降ったとたんに車が何十台も並ぶという実態で、ほとんど歩かない。

保健室の先生との話の中で、修学旅行で雨が降ってきた。傘を持って来るようと言っていたのに持ってきたのは半分。言い方を変えると、傘を持っていない。どうしてかという、親が送り迎えしてくれるから傘は必要ない。最終的には、傘のさし方も分からない。

このように、子どものライフスタイルがものすごく変化していることに、もう少し我々も敏感でなければ、子どもたちに手立てすることが見えてこないのかもしれない。

フッ化物洗口についても、羅臼の子ども達がどれだけ虫歯が多いかという実態があつて実施しているのであって、フッ素が良いからやっているのではない。子どもたちの実態から、そういうもの（取り組み）が生まれてくることを現場の先生方に理解いただいて取り組んでもらうこと（充分なオリエンテーション）が重要。羅臼という特殊事情・風土を考えること（羅臼町の課題分析）も必要。

○ 体育系の部活に入らなければ、体育の授業以外に体を動かす場面がないとすれば、かなり危機的な状況である。

○ 授業を行っている側の立場からすると、教室での授業に比べ（屋外の活動は）はるかにリスク多い。蜂に刺された、足をくじいた、脱水症になったなど、思いがけない事故等があり、そのたびに大騒ぎになり教頭に頭を下げている状況である。（このような活動）が必要だという共通理解を保護者も含め社会全体が強く持つことが必要。

○ 先生は転勤族であるので、羅臼の裏山も知らないしどうなっているかもわからない。なおかつ先生方も比較的若く先生自身がそのような経験を積んできていない。とすれば、教育委員会や社会教育と学校がどうやってドッキングしていくか可能性を探る中でやつていかないと難しい。学校現場としては、時間数の確保で大変。学校に期待しても無理がある。教育委員会（社会教育）と学校が共同でなければ、そういう機会を提供していくのは難しい。

特に、冬場の運動量が低下することに対して、どう解決する場をつくるかということは重要な課題。温水プールがある町と無い町では全然違う。